

(45分)

西洋の近代科学が、数学なしに成り立たなかつたことは言うまでもないが、数学をもとにした科学的な思考方法は、農耕よりも牧畜に、また狩猟に適している。牧畜は、勝手に動き回るたくさんの動物を数や量に還元して殖産・管理する方法がなくてはやつていけない。狩猟となれば、獲物は一種の敵であり、たとえば、野牛を倒す鉄砲の命中セイドとか弾丸の威力とかは、数学的に追求される必要があるだろう。

その数学について、フランスの哲学者ベルクソンは實に面白いことを書いている。現在「数学」と呼ばれているものは、古代ギリシア人たちの発明によつている。が、これとはまったく別の形を取つた数学があつてもよかつたはずである。「このように作り上げられ、たくさん約束事を含んだ数学に先立つて、もうひとつ潜在的な、暗黙のうちの数学、人間精神にとつて自然な数学というものが存在する」。ベルクソンが言いたいことは、数学的な思考は、人間が有用に行動する時にはどんな精神のなかにも必ず働いている、ということである。その潜在的数学が、西洋ではあるような形を取つて現われている。言ひ換えると、数学の今あるような形は、西洋人が身につけた行動類型から出ている。その類型は、狩猟から牧畜への発展のなかで形作られたと、私は思う。狩猟や植物採取から水田耕作のほうにほぼ完全に移行した古代日本人のなかにも、もちろん「潜在的な、暗黙のうちの数学」というものはあつた。しかし、それは、たくさんの記号を含んだ純粹に抽象的な数学としては現実化しなかつたのである。

周囲にあるいろいろなものを数や量として表わし、それらの間の質の違いを切り捨てて考えれば、私たちの生活行動はてきぱきした有効なものになる。問題は、その生活行動がどんなタイプであるかだ。

生命は<sup>(1)</sup>力として植物と動物になつた。この二つは、生き物の形態を示すだけでなく、生命が自分を伸ばしていく二つの傾向を示してゐる。人間のなかの動物的傾向は、狩猟、牧畜をして肉を食べる。植物的傾向は、農耕をして穀類や野菜を食べる。農耕のなかでも水田耕作は、肉を一切食べない生活を可能にさせるから、とりわけ植物的な傾向を持つ。さつきも述べたが、数学がより有効なのは、狩猟、牧畜的な生活行動においてである。西洋近代の自然科学は、こうした行動パターンを数学によつてさらに効率化させ、センレンさせていつた時に生まれた。

水田耕作に専念している限り、アジア人にはこうした数学は必要でなかつた。水田耕作者も、その労働のなかで物を数や量や位置の関係などに置き換えて、それなりに「数学的」に考へる必要はあるだろう。㊂ 彼の労働の最も主要な部分は、物の性質の違いに深く入り込んでいる。たとえば、土の質、天候、種の選別、それを時季、これらは年により限りなく変化している。その変化を、あるいは差異をとらえるものは、農夫の感覚と言つていゝものだけであつて、これは数学的な一般記号によつては決して表わすことができない。

狩猟生活は、人間のなかの動物的傾向から出でてくる。それとは反対に、手技による水田耕作は、人間のなかのいたつて植物的な傾向から出てくる。植物を食べることは、もちろん動物のすることだが、農は植物を愛し、育てる。その知恵は、まさに植物が育つ時間とともに育つ。これは人間のなかの植物的傾向が働いていなければ、できないことである。植物の生命と共鳴、同化できる能力が人間のなかにある。

農の知恵は、時間が経つことの本当の意味を知つてゐる。植物の成長、稲穂の成熟になくてはならない時間を自然と共に待つこと、ここに農の知恵がある。時間が経つことを、生きることそのものであり、植物を愛し、育てることである。こういう時間は早めることも、遅らせることもできない。また、耕す土地の広さは、身に与えられた人力を超えて広げることは決してできない。時間においても、空間においても、水田耕作者の植物的な生き方は、むやみな競争、自己を主張する闘争とはまったく無縁のところで成り立つてゐる。私たち人類が、もし本気で恒久の平和を願うなら、私たちはまず本気で植物的たろうとするところから始めなければならないだろう。（出典 前田英樹『独学の精神』）

① 一の部分⑦、⑤、⑥を漢字に直して楷書で書きなさい。  
 ② ④に入ることばとして最も適当なのは(1)～(4)のどれですか。  
 ③ ①の数学について……書いている」とあるが、筆者がベルクソンの考え方を取り上げた意図について説明したものとして最も適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。

(1) 古代ギリシア数学について、その未熟な点をふまえたうえで、近代数学が優れているということを例示し、自説を補うため。  
 (2) 牧畜や狩猟に適した数学の有効性をふまえたうえで、農業と数学の結びつきを説明し、ベルクソンの説を発展させるため。

(3) 数学的思考について、その普遍性を述べたうえで、行動類型によりその現われ方が異なることを指摘し、自論へと導くため。  
 (4) 西洋の行動類型と数学の発明との関連を述べたうえで、西洋における狩猟の特徴を挙げ、ベルクソンの説に反対するため。

(5) 「二つの傾向」とあるが、それに関する説明として最も適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。

人間の持つ動物的傾向が狩猟や牧畜を求め、数学を必要とした。植物的傾向を持つてゐる人間は、数学を有効に活用できる。数学の才能を持つ者は動物的傾向が強く、狩猟や牧畜を好む。人間のなかにある動物的傾向と植物的傾向は相容れない。

(6) の言葉を用いて、二十五字程度で説明しなさい。

(7) 「二つの傾向」とあるが、「植物的」であろうと「恒久の平和」につながるのか。その理由を七十字以内で説明しなさい。

2 次の文章I・IIを読んで、①～⑥に答えなさい。ただし、文章IIは筆者が兼好法師になりかわつて説明したものである。

I 今日はその事をなさんと思へどあらぬ急ぎまづ出で来てまぎれ暮らし、待つ人は障りありて頼めぬ人は來たり、頼みたる方の事は違ひ過じて思ひよらぬ道ばかりはかなひぬ。日々に過ぎ行くさま、かねて思ひつるには似ず。一年の中もかくのとし。一生の間もまたしかなり。かねてのあらまし皆違ひ行くかと思ふに、おのづから違はぬ事もあれば、いよいよ物は定めがたし。不定と心得ぬるのみまことにて違はず。(事態は不確かで定めにくく)  
 (2) 〔方義〕  
 (3) 〔前もって〕  
 (4) 〔前もって〕  
 (5) 〔前もって〕  
 (6) 〔前もって〕  
 (7) 〔前もって〕  
 (8) 〔前もって〕  
 (9) 〔前もって〕  
 (10) 〔前もって〕  
 (11) 〔前もって〕  
 (12) 〔前もって〕  
 (13) 〔前もって〕  
 (14) 〔前もって〕  
 (15) 〔前もって〕  
 (16) 〔前もって〕  
 (17) 〔前もって〕  
 (18) 〔前もって〕  
 (19) 〔前もって〕  
 (20) 〔前もって〕  
 (21) 〔前もって〕  
 (22) 〔前もって〕  
 (23) 〔前もって〕  
 (24) 〔前もって〕  
 (25) 〔前もって〕  
 (26) 〔前もって〕  
 (27) 〔前もって〕  
 (28) 〔前もって〕  
 (29) 〔前もって〕  
 (30) 〔前もって〕  
 (31) 〔前もって〕  
 (32) 〔前もって〕  
 (33) 〔前もって〕  
 (34) 〔前もって〕  
 (35) 〔前もって〕  
 (36) 〔前もって〕  
 (37) 〔前もって〕  
 (38) 〔前もって〕  
 (39) 〔前もって〕  
 (40) 〔前もって〕  
 (41) 〔前もって〕  
 (42) 〔前もって〕  
 (43) 〔前もって〕  
 (44) 〔前もって〕  
 (45) 〔前もって〕  
 (46) 〔前もって〕  
 (47) 〔前もって〕  
 (48) 〔前もって〕  
 (49) 〔前もって〕  
 (50) 〔前もって〕  
 (51) 〔前もって〕  
 (52) 〔前もって〕  
 (53) 〔前もって〕  
 (54) 〔前もって〕  
 (55) 〔前もって〕  
 (56) 〔前もって〕  
 (57) 〔前もって〕  
 (58) 〔前もって〕  
 (59) 〔前もって〕  
 (60) 〔前もって〕  
 (61) 〔前もって〕  
 (62) 〔前もって〕  
 (63) 〔前もって〕  
 (64) 〔前もって〕  
 (65) 〔前もって〕  
 (66) 〔前もって〕  
 (67) 〔前もって〕  
 (68) 〔前もって〕  
 (69) 〔前もって〕  
 (70) 〔前もって〕  
 (71) 〔前もって〕  
 (72) 〔前もって〕  
 (73) 〔前もって〕  
 (74) 〔前もって〕  
 (75) 〔前もって〕  
 (76) 〔前もって〕  
 (77) 〔前もって〕  
 (78) 〔前もって〕  
 (79) 〔前もって〕  
 (80) 〔前もって〕  
 (81) 〔前もって〕  
 (82) 〔前もって〕  
 (83) 〔前もって〕  
 (84) 〔前もって〕  
 (85) 〔前もって〕  
 (86) 〔前もって〕  
 (87) 〔前もって〕  
 (88) 〔前もって〕  
 (89) 〔前もって〕  
 (90) 〔前もって〕  
 (91) 〔前もって〕  
 (92) 〔前もって〕  
 (93) 〔前もって〕  
 (94) 〔前もって〕  
 (95) 〔前もって〕  
 (96) 〔前もって〕  
 (97) 〔前もって〕  
 (98) 〔前もって〕  
 (99) 〔前もって〕  
 (100) 〔前もって〕  
 (101) 〔前もって〕  
 (102) 〔前もって〕  
 (103) 〔前もって〕  
 (104) 〔前もって〕  
 (105) 〔前もって〕  
 (106) 〔前もって〕  
 (107) 〔前もって〕  
 (108) 〔前もって〕  
 (109) 〔前もって〕  
 (110) 〔前もって〕  
 (111) 〔前もって〕  
 (112) 〔前もって〕  
 (113) 〔前もって〕  
 (114) 〔前もって〕  
 (115) 〔前もって〕  
 (116) 〔前もって〕  
 (117) 〔前もって〕  
 (118) 〔前もって〕  
 (119) 〔前もって〕  
 (120) 〔前もって〕  
 (121) 〔前もって〕  
 (122) 〔前もって〕  
 (123) 〔前もって〕  
 (124) 〔前もって〕  
 (125) 〔前もって〕  
 (126) 〔前もって〕  
 (127) 〔前もって〕  
 (128) 〔前もって〕  
 (129) 〔前もって〕  
 (130) 〔前もって〕  
 (131) 〔前もって〕  
 (132) 〔前もって〕  
 (133) 〔前もって〕  
 (134) 〔前もって〕  
 (135) 〔前もって〕  
 (136) 〔前もって〕  
 (137) 〔前もって〕  
 (138) 〔前もって〕  
 (139) 〔前もって〕  
 (140) 〔前もって〕  
 (141) 〔前もって〕  
 (142) 〔前もって〕  
 (143) 〔前もって〕  
 (144) 〔前もって〕  
 (145) 〔前もって〕  
 (146) 〔前もって〕  
 (147) 〔前もって〕  
 (148) 〔前もって〕  
 (149) 〔前もって〕  
 (150) 〔前もって〕  
 (151) 〔前もって〕  
 (152) 〔前もって〕  
 (153) 〔前もって〕  
 (154) 〔前もって〕  
 (155) 〔前もって〕  
 (156) 〔前もって〕  
 (157) 〔前もって〕  
 (158) 〔前もって〕  
 (159) 〔前もって〕  
 (160) 〔前もって〕  
 (161) 〔前もって〕  
 (162) 〔前もって〕  
 (163) 〔前もって〕  
 (164) 〔前もって〕  
 (165) 〔前もって〕  
 (166) 〔前もって〕  
 (167) 〔前もって〕  
 (168) 〔前もって〕  
 (169) 〔前もって〕  
 (170) 〔前もって〕  
 (171) 〔前もって〕  
 (172) 〔前もって〕  
 (173) 〔前もって〕  
 (174) 〔前もって〕  
 (175) 〔前もって〕  
 (176) 〔前もって〕  
 (177) 〔前もって〕  
 (178) 〔前もって〕  
 (179) 〔前もって〕  
 (180) 〔前もって〕  
 (181) 〔前もって〕  
 (182) 〔前もって〕  
 (183) 〔前もって〕  
 (184) 〔前もって〕  
 (185) 〔前もって〕  
 (186) 〔前もって〕  
 (187) 〔前もって〕  
 (188) 〔前もって〕  
 (189) 〔前もって〕  
 (190) 〔前もって〕  
 (191) 〔前もって〕  
 (192) 〔前もって〕  
 (193) 〔前もって〕  
 (194) 〔前もって〕  
 (195) 〔前もって〕  
 (196) 〔前もって〕  
 (197) 〔前もって〕  
 (198) 〔前もって〕  
 (199) 〔前もって〕  
 (200) 〔前もって〕  
 (201) 〔前もって〕  
 (202) 〔前もって〕  
 (203) 〔前もって〕  
 (204) 〔前もって〕  
 (205) 〔前もって〕  
 (206) 〔前もって〕  
 (207) 〔前もって〕  
 (208) 〔前もって〕  
 (209) 〔前もって〕  
 (210) 〔前もって〕  
 (211) 〔前もって〕  
 (212) 〔前もって〕  
 (213) 〔前もって〕  
 (214) 〔前もって〕  
 (215) 〔前もって〕  
 (216) 〔前もって〕  
 (217) 〔前もって〕  
 (218) 〔前もって〕  
 (219) 〔前もって〕  
 (220) 〔前もって〕  
 (221) 〔前もって〕  
 (222) 〔前もって〕  
 (223) 〔前もって〕  
 (224) 〔前もって〕  
 (225) 〔前もって〕  
 (226) 〔前もって〕  
 (227) 〔前もって〕  
 (228) 〔前もって〕  
 (229) 〔前もって〕  
 (230) 〔前もって〕  
 (231) 〔前もって〕  
 (232) 〔前もって〕  
 (233) 〔前もって〕  
 (234) 〔前もって〕  
 (235) 〔前もって〕  
 (236) 〔前もって〕  
 (237) 〔前もって〕  
 (238) 〔前もって〕  
 (239) 〔前もって〕  
 (240) 〔前もって〕  
 (241) 〔前もって〕  
 (242) 〔前もって〕  
 (243) 〔前もって〕  
 (244) 〔前もって〕  
 (245) 〔前もって〕  
 (246) 〔前もって〕  
 (247) 〔前もって〕  
 (248) 〔前もって〕  
 (249) 〔前もって〕  
 (250) 〔前もって〕  
 (251) 〔前もって〕  
 (252) 〔前もって〕  
 (253) 〔前もって〕  
 (254) 〔前もって〕  
 (255) 〔前もって〕  
 (256) 〔前もって〕  
 (257) 〔前もって〕  
 (258) 〔前もって〕  
 (259) 〔前もって〕  
 (260) 〔前もって〕  
 (261) 〔前もって〕  
 (262) 〔前もって〕  
 (263) 〔前もって〕  
 (264) 〔前もって〕  
 (265) 〔前もって〕  
 (266) 〔前もって〕  
 (267) 〔前もって〕  
 (268) 〔前もって〕  
 (269) 〔前もって〕  
 (270) 〔前もって〕  
 (271) 〔前もって〕  
 (272) 〔前もって〕  
 (273) 〔前もって〕  
 (274) 〔前もって〕  
 (275) 〔前もって〕  
 (276) 〔前もって〕  
 (277) 〔前もって〕  
 (278) 〔前もって〕  
 (279) 〔前もって〕  
 (280) 〔前もって〕  
 (281) 〔前もって〕  
 (282) 〔前もって〕  
 (283) 〔前もって〕  
 (284) 〔前もって〕  
 (285) 〔前もって〕  
 (286) 〔前もって〕  
 (287) 〔前もって〕  
 (288) 〔前もって〕  
 (289) 〔前もって〕  
 (290) 〔前もって〕  
 (291) 〔前もって〕  
 (292) 〔前もって〕  
 (293) 〔前もって〕  
 (294) 〔前もって〕  
 (295) 〔前もって〕  
 (296) 〔前もって〕  
 (297) 〔前もって〕  
 (298) 〔前もって〕  
 (299) 〔前もって〕  
 (300) 〔前もって〕  
 (301) 〔前もって〕  
 (302) 〔前もって〕  
 (303) 〔前もって〕  
 (304) 〔前もって〕  
 (305) 〔前もって〕  
 (306) 〔前もって〕  
 (307) 〔前もって〕  
 (308) 〔前もって〕  
 (309) 〔前もって〕  
 (310) 〔前もって〕  
 (311) 〔前もって〕  
 (312) 〔前もって〕  
 (313) 〔前もって〕  
 (314) 〔前もって〕  
 (315) 〔前もって〕  
 (316) 〔前もって〕  
 (317) 〔前もって〕  
 (318) 〔前もって〕  
 (319) 〔前もって〕  
 (320) 〔前もって〕  
 (321) 〔前もって〕  
 (322) 〔前もって〕  
 (323) 〔前もって〕  
 (324) 〔前もって〕  
 (325) 〔前もって〕  
 (326) 〔前もって〕  
 (327) 〔前もって〕  
 (328) 〔前もって〕  
 (329) 〔前もって〕  
 (330) 〔前もって〕  
 (331) 〔前もって〕  
 (332) 〔前もって〕  
 (333) 〔前もって〕  
 (334) 〔前もって〕  
 (335) 〔前もって〕  
 (336) 〔前もって〕  
 (337) 〔前もって〕  
 (338) 〔前もって〕  
 (339) 〔前もって〕  
 (340) 〔前もって〕  
 (341) 〔前もって〕  
 (342) 〔前もって〕  
 (343) 〔前もって〕  
 (344) 〔前もって〕  
 (345) 〔前もって〕  
 (346) 〔前もって〕  
 (347) 〔前もって〕  
 (348) 〔前もって〕  
 (349) 〔前もって〕  
 (350) 〔前もって〕  
 (351) 〔前もって〕  
 (352) 〔前もって〕  
 (353) 〔前もって〕  
 (354) 〔前もって〕  
 (355) 〔前もって〕  
 (356) 〔前もって〕  
 (357) 〔前もって〕  
 (358) 〔前もって〕  
 (359) 〔前もって〕  
 (360) 〔前もって〕  
 (361) 〔前もって〕  
 (362) 〔前もって〕  
 (363) 〔前もって〕  
 (364) 〔前もって〕  
 (365) 〔前もって〕  
 (366) 〔前もって〕  
 (367) 〔前もって〕  
 (368) 〔前もって〕  
 (369) 〔前もって〕  
 (370) 〔前もって〕  
 (371) 〔前もって〕  
 (372) 〔前もって〕  
 (373) 〔前もって〕  
 (374) 〔前もって〕  
 (375) 〔前もって〕  
 (376) 〔前もって〕  
 (377) 〔前もって〕  
 (378) 〔前もって〕  
 (379) 〔前もって〕  
 (380) 〔前もって〕  
 (381) 〔前もって〕  
 (382) 〔前もって〕  
 (383) 〔前もって〕  
 (384) 〔前もって〕  
 (385) 〔前もって〕  
 (386) 〔前もって〕  
 (387) 〔前もって〕  
 (388) 〔前もって〕  
 (389) 〔前もって〕  
 (390) 〔前もって〕  
 (391) 〔前もって〕  
 (392) 〔前もって〕  
 (393) 〔前もって〕  
 (394) 〔前もって〕  
 (395) 〔前もって〕  
 (396) 〔前もって〕  
 (397) 〔前もって〕  
 (398) 〔前もって〕  
 (399) 〔前もって〕  
 (400) 〔前もって〕  
 (401) 〔前もって〕  
 (402) 〔前もって〕  
 (403) 〔前もって〕  
 (404) 〔前もって〕  
 (405) 〔前もって〕  
 (406) 〔前もって〕  
 (407) 〔前もって〕  
 (408) 〔前もって〕  
 (409) 〔前もって〕  
 (410) 〔前もって〕  
 (411) 〔前もって〕  
 (412) 〔前もって〕  
 (413) 〔前もって〕  
 (414) 〔前もって〕  
 (415) 〔前もって〕  
 (416) 〔前もって〕  
 (417) 〔前もって〕  
 (418) 〔前もって〕  
 (419) 〔前もって〕  
 (420) 〔前もって〕  
 (421) 〔前もって〕  
 (422) 〔前もって〕  
 (423) 〔前もって〕  
 (424) 〔前もって〕  
 (425) 〔前もって〕  
 (426) 〔前もって〕  
 (427) 〔前もって〕  
 (428) 〔前もって〕  
 (429) 〔前も

国 (3) ② 「障りありて」の意味を現代語で書きなさい。

③ 「一年の……いとし」とあるが、「一年の中も」どうだというのか。その説明として最も適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。気ままに過ぎていく。(2) 危うい事態が生じる。

(3)(1) あと始末に追われる。

(4)(2) 予想通りにいかない。

④ 「どうせ……やつて来る」とあるが、「当たり」に相当すること

とばを文章Iの後半から五字以内で抜き出して書きなさい。

⑤ 「安心」をしたい」という人間の心の傾向を文章IIの後半では何と言っているか。一語で抜き出して書きなさい。

⑥ 「人間は……傲慢でもある」とあるが、傲慢にならないためにどうすればよいというのか。文章Iから十字以内で抜き出して書きなさい。

### 3 次の文章を読んで、①～⑤に答えなさい。

著作権者の了解が得られないため削除しています。